

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス すばる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・パーティションを活用し学習・遊びの空間を区切っている。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・玄関前のスロープ、手すり、トイレ内手すりなど設置している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・業務日誌での記録、ミーティングを行うなど、連携を取って業務について話し合っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者向けアンケート回収後、ミーティングにて話し合いを行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・昨年度分をHPIにて公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・オンライン研修の活用 ・研修の内容はミーティングで共有している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・事業所内相談の実施・保護者のニーズに応じるための話し合いを行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・集団活動や個別活動、課外活動など様々な活動に参加できるようにプログラムを設定している。	・これからも感染予防に努めながら課外活動の機会を増やしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・1日のスケジュールを事前に提示し、見通しをつけて安心して過ごせるように配慮している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・子どもの成長に合わせて興味の幅が広がっていくように、今後も活動プログラムを企画していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼を行っている。連絡ノート等を用いて必ず情報共有ができるよう工夫している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼にて1日の振り返りをし、子ども達の様子を共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・支援計画作成時には対象児のモニタリングを行い、計画の見直しをしている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校お迎え時に1日の学校での様子をお聞きしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・保護者の方や相談員から情報提供を受けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			・今期、対象者なし。必要に応じて関係機関と連携し、情報共有と相互理解に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・自閉症児支援センターwaveより助言をうけ、療育の質の向上に努めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・コロナ感染防止のため控えている。	・同法人内での交流や地域イベントへの参加など、感染防止に努めながら交流の場を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時にデイやお家での様子を伝えあい、情報共有に努めている。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・研修を受けるなど、支援技術の向上に努めている。	・保護者の悩みや要望をお聞きし、保護者の気持ちに寄り添った支援ができるようスタッフ一同心掛けていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・コロナ感染防止のため控えている。	・感染予防に努めながら、今後保護者参加のイベントを企画・開催し、保護者同士の連携を支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・小さな質問でも施設長に報告をし、迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・活動の様子や行事予定を載せた「すばる通信」を毎月1回発行し配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・連絡帳等の入れ間違いがあれば適切に対応し、再発防止に努めている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			・感染対策の上、ボランティアの方に来て頂いている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・緊急時対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	・新たにコロナウイルス感染症対応マニュアルを策定し、感染症拡大防止に努めた。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・毎月1回、地震・火災・津波等を想定して子ども達と一緒に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・外部研修に参加し、ミーティングで研修内容を周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・学校・家庭と情報共有しながら考慮している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・保護者の方と相談し、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		